

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2007-101853(P2007-101853A)

【公開日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2005-290937(P2005-290937)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月1日(2008.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内周と一方の端面に係合部を有する円筒状の回転リング支持手段と、
 一方の端面に前記回転リング支持手段の一方の端面に係合部と係合する係合部を有する円筒状の固定枠手段と、
 外周に前記回転リング支持手段の内周に係合部と係合する係合部を有し、一方の端面に前記固定枠手段の他方の端面を固定するフランジ部を有する円筒状の外枠手段と、で構成され、
 前記固定枠手段の他方の端面が前記外枠手段のフランジ部に固定されていない状態において、
 前記回転リング支持手段は、
 前記回転リング支持手段の内周に係合部と前記外枠手段の外周に係合部との係合を保ったまま、前記外枠手段に対して円筒軸方向に摺動可能であり、
 前記回転リング支持手段の一方の単面の係合部と前記固定枠手段の一方の単面の係合部との係合を保ったまま、前記外枠手段に対して円筒面方向に回転可能であって、
 前記固定枠手段の他方の端面が前記外枠手段のフランジ部に固定されている状態において、
 前記回転リング支持手段は、
 前記固定枠手段と、前記回転リング支持手段の内周に係合部と前記外枠手段の外周に係合部との係合とによって、前記外枠手段に対して円筒軸方向の摺動が規制され、
 前記回転リング支持手段の内周に係合部と前記外枠手段の外周に係合部との係合と、前記回転リング支持手段の一方の端面に係合部と前記固定枠手段の一方の単面の係合部との係合とによって、前記外枠手段に対して円筒面方向の回転が規制される、
 ことを特徴とするレンズ鏡筒。